
枝萌え 第一章「枝」

八千代

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

枝萌え 第一章「枝」

【Nコード】

N2839W

【作者名】

八千代

【あらすじ】

枝萌えシリーズ、第一章。

枝萌えの理由を文章にしてみました。

自分のサイトで公開済みです。

「枝」

背景には透き通る青。

芝生と植木のある庭。

上方目指して伸びた枝はまるであなたの指のよう。

私の手が置かれるのを待ちくたびれているかのような枝振り、木々の枝に色気を感じるのは、多分人の指の骨格に似ているからで、私が指す人の指とはあなたの指に他ならない。

手入れされ、綺麗に整えられた爪先は、愛し愛されていることの証明。あなたの美意識の表れ。生真面目さの発露。

その木が幹にまとった黒い苔はあなたの着ていた黒いシャツに似ている、地面に深く根付いた根っこは地に足の付いたあなたの思慮深さを連想させる。

その木は酸素を作り出し、あなたは癒しを作り出す。

木から張り出した枝に、私はあなたの腕に抱きすくめられた時の力強さを見出だす。

三歩下がると、木陰の中に私は立っていて、木陰の中ではあなたの優しさに包まれていたあの頃を思い出す。

あの頃。

弱虫な私はあなたに縋って泣いてばかりいた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2839w/>

枝萌え 第一章「枝」

2011年10月9日16時02分発行